

外来植物アレチウリの侵入状況と蔓延防止の支援

【特徴】

農作物被害や生態系の改変を引き起こす外来植物アレチウリの蔓延を防止するためには、早期発見と迅速な駆除が求められる。そのため全県的な侵入状況を把握し、侵入可能な地域の予測から、防除計画の基礎を提供した。

【活用が見込まれる分野】

山梨県の環境保全
農業被害の防止

【成果】

1. 広域的な侵入状況の把握
2. 侵入可能な地域の予測

【内容】

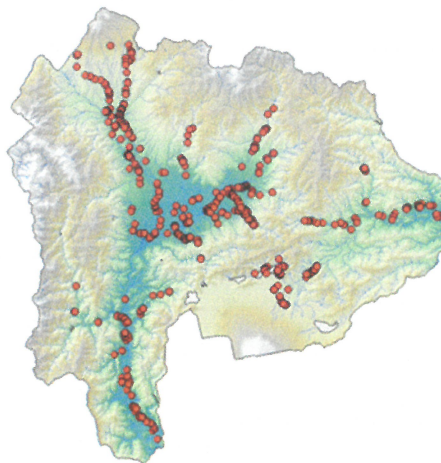
1. 広域的な侵入状況の把握

方法

GPSとムービーカメラを車載し、アレチウリを発見した場合、音声で記録した。調査終了後、GPSと動画、音声データを同期させ、地図を作成した。

結果

2015年には247地点、2016年には440地点でアレチウリの生育が確認された(右図: ●は発見地点を示す)。



アレチウリは大繁茂すると、数年間継続した駆除作業のため、相当の労力を必要とする。そのため侵入直後の迅速な駆除が効果的である。またスズメバチが訪花するため注意が必要である。

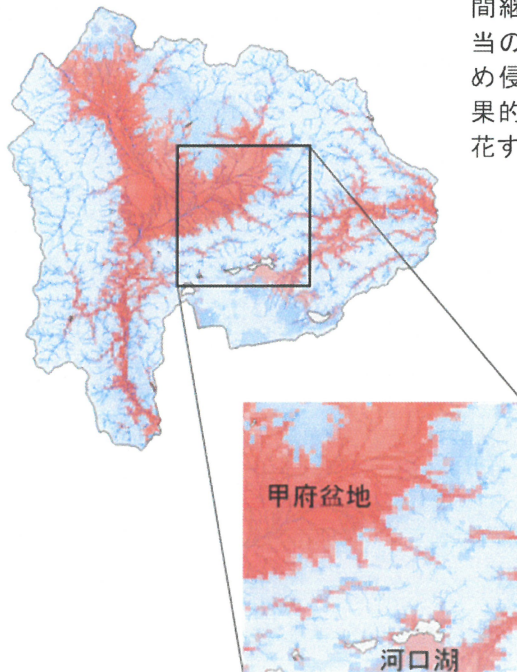
2. 侵入可能な地域の予測

方法

全県を500mメッシュに分割し、各メッシュの最大標高、年降水量、森林割合、河川長を用いて、上記の発見データからアレチウリが侵入可能(生育しやすい)な地域を予測した。

結果

市街地が発達する河川周辺や農耕地あるいは観光地の多くが侵入可能であることが示された。



アレチウリの生育可能性



まとめ

アレチウリに関して、早期発見と迅速な駆除活動が繁茂を抑制する上で重要である。全県的にアレチウリの分布が認められ、より広い範囲で生育が可能と考えられることから、全県的な防除体制の構築と実施が求められる。

出典: 国土交通省国土地理院基盤地図情報及び国土政策局国土数値情報を用いて地図を作成